

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第178号

令和2年2月27日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

新型コロナウイルス感染のニュースが続いており、協議会会員も様々な対応に取り組んでいます。今回は開催することができた協議会の事業について報告しますが、感染症拡大の状況によっては、子ども達の体験活動が長期間にわたって制約を受けることになってしまうことが心配です。

子どもサイエンスフェスティバル 2019 ④

開場前にはだのこども館の皆様が徹底した清掃と換気をしていただき、スタッフは全員マスクの着用と消毒を行い、来場者の皆様にも受付での手指の消毒や協力依頼をさせていただき、今年度最後の子どもサイエンスフェスティバルを開催することができました。今年はやはり新型コロナウイルスの影響で、一日トータルの来場者数と昨年の開場前に並んで待たれていた方の数がほぼ同じという状況でした。その分、体験の待ち時間も少なく、空間的なゆとりをもって体験をしていただくことができました。このような状況でも、楽しみにしてきてくれた子ども達のためにと出展団体の方々も全員に来ていただきました。

第4回 子どもサイエンスフェスティバル 秦野大会

2月22日(土) はだのこども館

来場者 211名

開場前の20名ほどの来場者には、館の外部で待っていただきました。

入口や館内の会場案内などに「感染症対策のお願い」(咳エチケット・手指洗い等)を掲示しました

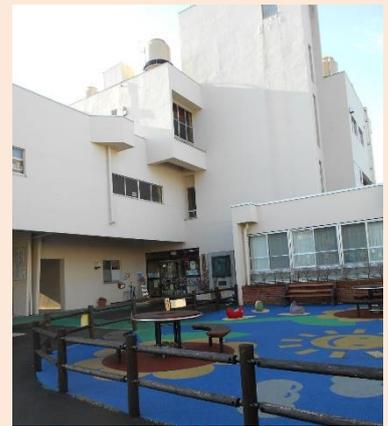
受付での消毒にも、全員にご協力いただきました



館内にも消毒剤や殺菌用ウェットティッシュを設置



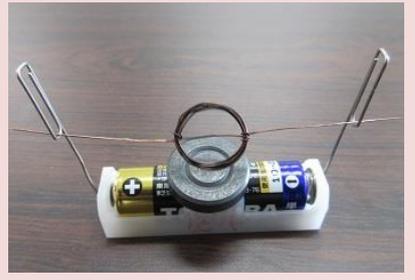
はだのこども館

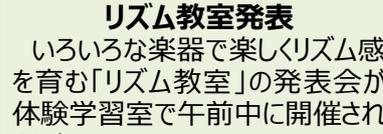


入り口前のゴムチップが敷かれた「おひさまひろば」、1階ロビーの「交流スペース」では、科学体験が終わった子ども達が遊んでいました。

けん玉や竹馬、ビー玉で遊ぶ段ボール迷路などの手作りのおもちゃも借りられます。

| ①平塚工科高等学校 平工遊園地 | ②(特非)てい工房 ピンホールスコープ製作 | ③(特非)神奈川県環境学習リーダー会 「つかめる水」水の大切さを知る |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>高校生が作成した工作物の展示と、色々なゲームで遊べるコーナーです。遊び方も高校生が丁寧に教えてくださいました。</p> | <p>「切って」「貼って」を繰り返してできる、ピンホールスコープを作りました。逆立ちした「イ」の字を覗いたらどうなるのか、体験してみました。</p> | <p>アルギン酸ナトリウムと乳酸カルシウムを使って「つかめる水」を作りました。大切な水を考えるきっかけ作りでもあります。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| ④紅葉ヶ丘無線クラブ | ⑤SFCD | ⑥(特非)科学探検隊 |
| 電気・磁石の不思議をさぐる！ (電磁石を作ってみよう) | 宇宙(そら)までとどけ！ みんなのかみコップロケット！ | 磁気の話と クリップモーター工作 |
|  |  |  |
| 丁寧にコイルを巻いて電磁石をつくらせたり、電磁石の力でいろいろの物をくっつけてみたりしました。 | 「こども宇宙科学館 出張サイエンスショー」で興味をもった子ども達も並んだので、最後まで盛況でした。 | 中学生で学ぶ電流や磁力線の関係とモーターの仕組みを、クリップモーターを作って学びました。 |

| | | | |
|--|---|---|---|
| ⑦ はまぎん こども宇宙科学館 | 会場の様子 | | 同時開催 こども科学館事業 |
| 出張サイエンスショー 「とべ☆ロケット！！」 | 今回は来場者が少なく、ゆったりとしていました。 | | 絵画教室作品展示 |
|  |  1階 多目的 ホール ①②③ |  | はだのこども館で年に4期開催している小学生絵画教室の作品が、2階ロビーに展示されました。 |
| 「リズム教室発表」のため、午後のみ開催でした。子ども達と対話しながら実験や説明を進めました。 |  2階 研修室 各1団体 ④⑤⑥ |  | リズム教室発表 いろいろな楽器で楽しくリズム感を育む「リズム教室」の発表会が体験学習室で午前中に開催されました。 |

小田原で、プチロボとリレー科学教室を連日で開催

2月22日(土)プチロボで競走しよう小田原大会、2月23日(日)かながわりレー科学教室(小田原)を、小田原生涯学習センターけやきで開催しました。
小田原での講座は毎年人気が高く、今年も「プチロボで競走しよう」は約4倍(昨年約3倍)、「リレー科学教室」は約1.5倍(昨年約2倍 移動科学教室)の応募がありました。

プチロボで競走しよう(小田原大会)



午後のタイムレースは自由参加とし、時間も通常より短縮しました。

午前にはロボット作成
参加者もスタッフも
マスクを着用



リレー科学教室(小田原)



燃焼の実験ショーと工作(ストローとんぼ、レインボースコープ、ペットボトル空気砲製作)を行いました

来年度は、10年ぶりに小田原生涯学習センターけやきで「子どもサイエンスフェスティバル」を開催予定です。

事務局から

今年度も残り1か月です。イベントの中止・延期・短縮・縮小などが各所で検討されています。来年度のイベントが計画通り実施されることを祈るとともに、よりよいイベント内容が実施できるよう、協議会の皆様のご協力を引き続きお願いいたします。(事務局:千葉、伴、熊切、山田)

